

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330141030	専門演習C Expert Exercise C	小倉弘之・栗村正仁			1	必修	4前期

## 科目の概要

人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成するために、これまでの自らの経験や特性を振り返り、コミュニケーションに着目することで、こどもの日常の遊びや学び、そしてこどもの成長に対する認識と現実の保育及び教育現場での課題に対する見識を深めるとともに、自立した社会人として学生自身が自らの将来を見据えながら社会へ適応するための力を磨く（DP①②③④⑤⑥）。

学修内容	到達目標
① 自らの特性を理解し、自主的に考え、行動する能力をさらに高める。 ② 他者との交流を一層深め、自らの広く深い見方につなげる。 ③ ことば・コミュニケーションなどの点から保育・教育に必要な知識や考え方を身に付ける。	① 自らの特性を理解し、自らの価値観を持ち、一步進んだ挑戦を行うことができる。 ② 他者との積極的な交流を通して、自らの保育・教育への見方を深めることができる。 ③ ことば・コミュニケーションなどの点から保育・教育に必要な知識や考え方を身に付け、自らの認識を表現できる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、様々な資料・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	他の学生と協働しながら積極的に学修に取り組み、より良い結果を出すことを目指している。
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	定められた学修予定の中で、より効率的・効果的なものになるよう計画し推進することができる。
	創造力	事象に対して固定概念に捉われることなく、多面的・多角的に考察することができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確なことばや文章、方法を用いて表現できる。
	傾聴力	課題解決に向けて他者の意見を確認し、真摯な態度で対応、考察することができる。
	柔軟性	課題解決に向け、その時の状況を踏まえ、より効率的・効果的な方法を選択・実践することができる。
	情況把握力	課題解決に向け、客観的に自らの状況を把握・判断することができる。
	規律性	課題解決に向け、学修が円滑に進行するよう集団のルールを守ることができる。また、提出物を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	課題解決に向けての困難な状況に際し、他者からの助言を得たり自ら考え、困難な状況を自ら乗り越えて学修を進めることができる。

## テキスト及び参考文献

教科書：特になし（適宜、資料を配付する）

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「専門演習C」は専門科目のコア科目に配置されており、「専門演習A」「専門演習B」で獲得した知識・技術を活用する。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から新聞やテレビ等でテーマに関する情報に関心を持ち、収集するよう心がける。</li> <li>・課題に応じた自分なりの考えをまとめるとともに、他者にも適切に自身の考えを伝えることができるよう努力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で配布する資料はいつも保管しているわけではないので、出席者からもらうようにする。</li> <li>・授業に参加していない（私語、居眠り等）と認められた者に対しては欠席扱いとする。</li> <li>・授業者が使用を認めた場合以外のスマホの使用を禁止する。</li> <li>・遅刻は授業開始後20分以内とし、かつその授業後直ちに自己申告があったもののみとする。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		60	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			30	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・課題に対して他者と協働し積極的かつ柔軟に取り組み、自分の意見を他者に分かりやすく伝えられることができたものをA(優)とする。上記に加え、レポート等の内容が際立って優れていた者をS(秀)評価とする。</p>	<p>B：自分の意見を表現したり他者とのグループディスカッションに参加することができる。また、資料をまとめ、レポートを作成することができる。</p> <p>C：自分の意見を表現したり他者とのグループディスカッションに参加することに一部困難がみられたり意欲の乏しさがみられる。また、レポート作成において、資料の扱いや論理の展開に不十分さがみられる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション(小倉) 本科目で到達を目指す目標・内容・社会人基礎力などについて理解する。	講義 グループワーク	本科目を通して培う資質・能力を踏まえ、本科目履修に当たっての明確な目標を立てることができる。	(予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 本科目を履修していく上での目標などを明確にする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	自己理解(栗村) 自己分析を改めて行い、自らの強みの理解、その活用の仕方などについて考察する。	演習 グループディスカッション	自らを客観的に分析し、よさやその生かし方を表現することができる。	(予習) 提示された質問に回答する。 (復習) 本時での学修を踏まえ、自らの強みについて考察し、文章としてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	自己PR(栗村) 前時の「自己の強み」についての有効なアピールの方法について考察する。	演習 グループディスカッション	自己の強みを効果的にアピールできる自己PRができる。	(予習) 自己PRの準備を行う。 (復習) 自身及び他者が行った自己PRを振り返り、より効果的な自己PRに改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	場面指導①(栗村) 保育・教育現場の様々想定される場面や状況での対応の仕方について考察する。	講義 グループディスカッション	保育・教育現場での様々想定される場面での自らの対応の仕方を表現することができる。	(予習) 提示された場面・状況での自らの対応の仕方について考える。 (復習) 自身及び他者の発表を再度考察し、よりよい対応に改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	場面指導②(栗村) 保育・教育現場の様々想定される場面や状況での対応の仕方について考察する。	講義 グループディスカッション	保育・教育現場での様々想定される場面での自らの対応の仕方を表現することができる。	(予習) 提示された場面・状況での自らの対応の仕方について考える。 (復習) 自身及び他者の発表を再度考察し、よりよい対応に改善する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	教育・保育のキーワードから考える(栗村) 教育・保育の今日的な課題について協議し、それらへの認識を深める。	講義 グループディスカッション	教育・保育の今日的な課題について自らの認識を表現できる。	(予習) 提示された課題について内容等調べる。 (復習) 授業を振り返り、課題についての自らの認識をまとめる(提出)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	面接試験に臨む(栗村) 模擬面接を行い、保育・教育職としての自らをアピールする方法について検討する。	講義 グループディスカッション 発表	自他の面接について考察し、改善策を考え改善することができる。	(予習) 面接課題について回答内容を準備する。 (復習) 自他の面接について振り返り、改善し録画し提出する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	ことば・コミュニケーションの役割(小倉) 保育・教育におけるコミュニケーションについて考える。	講義・演習 グループディスカッション 前時課題のフィードバック	保育・教育におけることばやコミュニケーションの意義や役割について、自分なりの考えをもつことができる。	(予習) 提示された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出: google classroom)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ことばの習得と思考力(小倉) 子どものことばの習得、ことばと思考力の関係について考える。	講義・演習 グループディスカッション 前時課題のフィードバック	子どものことばの習得、ことばと思考力の関係について説明できる。	(予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出: google classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	幼児期のことばの発達(小倉) 幼児期にことばの力をつける方法について考える。	講義・演習 グループディスカッション 前時課題のフィードバック	幼児期にことばの力をつける方法について説明できる。	(予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 8~10時間の授業について振り返り、レポートにまとめる(提出: google classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	学びを深めるコミュニケーション(小倉) 学びを深めるコミュニケーションについて考える。	講義・演習 グループディスカッション 前時課題のフィードバック	学びを深めるコミュニケーションのあり方について説明できる。	(予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出: google classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	学びを深めるコミュニケーションについて考える。(小倉)	講義・演習 前時のレポートに対するフィードバック グループワーク ディスカッション	学びを深めるコミュニケーションのあり方について説明できる。	(予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出: google classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	ことばとからだ(小倉) ことばとからだのかかわりについて考える。	講義・演習 グループディスカッション 前時課題のフィードバック	ことばとからだのかかわりについて説明できる。	(予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 授業のポイントをまとめ、考察を記述する(提出: google classroom)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	確かな対話のために(小倉) 確かな対話を生むための保育士や教師のかかわりについて考える。	講義・演習 グループディスカッション 前時課題のフィードバック	確かな対話を生むための保育士や教師のかかわりについて説明できる。	(予習) 指定された資料を読んでおく。 (復習) 11~14時間の授業について振り返り、レポートにまとめる(提出: google classroom)。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
15	まとめと後期に向けて(栗村)	オンデマンド	本演習の学修を振り返り、特に保育・教育の現場での自らの歩み方について説明できる。	(予習) これまでの資料やノートをふり返る。 (復習) テーマについてレポートにまとめる(提出: google classroom)。	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330142031	専門演習D Expert Exercise D	小倉弘之・栗村正仁			1	必修	4後期
<b>科目の概要</b>							
人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成するために、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育及び教育現場での課題に対する見識をより深めるとともに、生きることと学びや関わりについて相対的な理解を深める。(DP①②③④⑤⑥)。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 専攻の「学び」で培った知識の応用を目指す。 ② 自主的に考え、行動する能力をさらに高める。 ③ 保育・教育の実践について考察するとともに、生きることと学ぶこととの関係について考えを深める。				① これまでの振り返りと、今後の活動に必要な学びの姿を獲得し、実践することができる。 ② 自主的な考えを深め、自らの価値観を持ち、一步進んだ挑戦を行うことができる。 ③ 保育・教育の実践について考察するとともに、生きることと学ぶこととの関係について考えを深められている。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、資料を使って自己学修することができる。					
	働きかけ力	他の学生とともにグループで協力して活動の様子をまとめることができる。					
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。					
考え抜く力	課題発見力	推測で判断せずに、客観的に情報を整理して、課題を見極めることができる。					
	計画力	グループや個人の活動発表に向けて、計画的に物事を進めることができる。					
	創造力	固定観念に捉われることなく、多角的に物事を考察することができる。					
チームで働く力	発信力	自分の意見を整理し、工夫した発表をすることができる。					
	傾聴力	他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。					
	柔軟性	活動の条件に応じて計画を調整したり、他の学生の意見を取り込んだりして、自身の考えをまとめることができる。					
	状況把握力	他者の意見を考慮し、活動設定することができる。					
	規律性	自分の価値観で判断せずに、集団のルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。					
	ストレスコントロール力	分からないことがあればその場で教員に質問したり、他者に相談したりすることができる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
使用しない。適宜、資料を配布する。							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：「専門演習D」は専門科目のコア科目に配置されており、「専門演習C」で獲得した知識・技術を活用する。							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
今後、教育者となるために自分にとって足りないこと、強化すべきことは何かを常に考えながら受講し、発見した課題をメモしておいてください。まとめのレポートの課題となります。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で配布する資料はいつも保管しているわけではないので、出席者からもらうようにする。</li> <li>・遅刻は授業開始後20分以内とし、かつ、その授業後直ちに自己申告があったもののみとする。</li> <li>・授業や活動に参加していないと判断(私語、居眠り等)された者は欠席扱いとする。</li> <li>・授業中のスマホ使用は、授業者から指示された場合以外は禁止とする。</li> </ul>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		80	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			10	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：授業中の活動、発言が積極的で極めて良好であり、レポート課題でも優れた内容となっている(80%)。レポートで良好な(90%以上)成果を上げられる。受講態度がよく、減点項目がない。</p>	<p>B：授業中の活動、発言が良好である。レポートで良好な成果(70%以上)を上げられる。 C：授業中の活動に他者と協働して取り組んでおり、レポート等でも一定以上の学修成果が認められる(60%以上)。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション (粟村) 本演習の目標、内容、 社会人基礎力の項目な どについて理解し、学 修への見通しをもつ。	講義 グループディスカッ ション	本科目の目標・内容・ 評価について理解し、 今後の見通しを持て る。	(予習) シラバスを熟 読してくる。 (復習) 講義の内容を 振り返り、レポートに まとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	卒業研究について(粟 村) 卒論の作成・提出・発 表の方法について 研究不正について(剽 窃、改ざん、AIの濫用 など)	講義 グループディスカッ ション フィードバック	卒業研究の今後の進め 方について重要な点を 理解している。	(予習) 卒業研究の深 度を確認してくる (復習) 卒業研究を進 める	180	主体性 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコ ント ロール力
3	特色ある保育実践(小 倉) 保育の現場で活躍して いる外部講師からのレ クチャーを基に保育・ 教育の在り方について 考える。	講義・演習 ディスカッション	子どものもつ可能性や それを引き出す保育の 在り方について説明で きる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 外部講師の保 育実践から学んだこと をまとめレポート作成 を行う(提出)。	180	主体性 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコ ント ロール力
4	卒業研究中間報告準備 (粟村) 各自の卒業研究のテー マや目的、これまでの 進捗状況等について発 表する準備をする	個人作業 フィードバック	卒業研究中間発表の最 低限の準備ができる。	(予習) 卒業研究の進 展を確認し使用中の資 料をまとめてくる。 (復習) 卒業研究中間 発表の資料を作成して くる。	180	主体性 課題発見 力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコ ント ロール力
5	卒業研究中間報告会 (粟村) 各自の卒業研究のテー マや目的、これまでの 進捗状況等について発 表・検討する。	グループ発表 協議 フィードバック	それぞれの卒業研究の これまでの進捗状況に ついて発表し、今後の 見通しをもつことがで きる。	(予習) 卒業研究の中 間発表資料を作成。 (復習) 発表・協議を 踏まえ、今後の見通し を構想する(提出)。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもが伸びる教室の 条件～教師の役割と話 し方・聴き方～①(小 倉) 子どもが伸びる教室の 条件について教師の役 割と話し方・聴き方の 点から考察する。	演習 ディスカッション	子どもが伸びるための 教室の条件としての教 師の在り方・対応の仕 方について説明でき る。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 講義の内容を 振り返り、考察をまと める(提出)。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	子どもが伸びる教室の 条件～教師の役割と話 し方・聴き方～②(小 倉) 子どもが伸びる教室の 条件について教師の役 割と話し方・聴き方の 点から考察する	演習 ディスカッション	子どもが伸びるための 教室の条件としての教 師の在り方・対応の仕 方について説明でき る。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 講義の内容を 振り返り、考察をまと める(提出)。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	子どもが伸びる教室～ 子ども同士の関係(小 倉) 子どもが伸びる教室の 条件について子ども同 士の関係性から検討す る。	演習 ディスカッション	子どもが伸びるための 教室の条件として、子 ども同士の関係性をど う作っていけばよいか 説明できる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の演習の 内容を振り返り、考察 する(提出)。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	実際の授業から学ぶ (小倉) 小学校1年生の授業 VTRを視聴し授業分析 する。	演習 グループディスカッ ション	視聴した授業のよさや 特徴について述べるこ とができる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 授業VTRを 視聴、グループでの協 議等を通しての考察を まとめる(提出)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	保育・教育現場の光と 影(小倉) 保育や教育の現場に起 こっている問題事例等 について考察する。	演習 グループディスカッ ション	保育・教育現場での問 題事例の中から1事例 を選び、それについて 考察することができる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 自分で選んだ 1事例について対応の 仕方についてレポート を作成する(提出)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	教育者として成長して いくためには(小倉)	演習 グループディスカッ ション	本演習のこれまでの内 容も踏まえ、より良い 保育士・教師になって いくための心構えと具 体策を説明できる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の内容を 振り返り、考察しレ ポートにまとめる(提 出)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	学び・人生・つながり ①人生と学校(栗村) 生涯学習という観点か ら、学びを人生総体に わたるものとして捉え る。	講義 グループディスカッ ション	生涯学習の概念を捉 え、自らの人生と学び の関係について自分な りに考えを深めること ができる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の学修を 通しての考察をまとめ ることができる(提 出)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	学び・人生・つながり ②生涯学習と人間関係 (栗村) 社会教育の実践に触れ ることで、学びにおけ る人と人とのつながり の大切さについて考え る。	講義 グループディスカッ ション	人が集まる場所を作る ことが社会にとってど のような意味をもつか を自分なりに考えるこ とができる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の学修を 通しての考察をまとめ ることができる(提 出)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	学び・人生・つながり ③危機を支えるもの (栗村) 社会福祉施設の取り組 みについて知ること で、生きることとつな がりや学びについての 考える。	講義 プレゼンテーション	人が生きることを支え るものは何か、そのと き人と人のつながりが どのような意味を持つ かを自分なりに考える ことができる。	(予習) 予習課題を読 み、自分なりの意見を まとめておく。 (復習) 本時の学修を 通しての考察をまとめ ることができる(提 出)。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	本科目のまとめと振り 返し(栗村)	講義	講義で学んだことを踏 まえて、自身の考えを 発信することができる。	(予習) 資料を熟読し ておく。 (復習) 講義を視聴し ての考察をまとめる (提出)。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール 力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力